

国臨協新潟地区会会報

2020年7月発行
第89号

朱鷺つと

発行者：渡辺 靖 (西新潟中央)
編集委員：柳澤 隆司 (さいがた医療)
土田 昌美 (西新潟中央)
柳田 光利 (新潟)



佐渡に沈む夕日

撮影：西新潟中央 渡辺

会長・副会長挨拶

新潟地区会会長の渡辺です。地区会の活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

地区会会長を拝命してから、年間スケジュール通り順調にスタートを切ったと思っておりましたが、まさかの新型コロナ禍に地区会活動も飲み込まれてしまい、例年ならば6月に開催しておりました地区会交流会も断念せざるを得ないことになってしまいました。本来であれば、この号には、交流会の楽しい記事や写真を掲載する予定でしたが・・・今年度のメインイベントであったはずの国立病院総合医学会も集合形式からWEB形式に変更となり、全国からの参加者を新潟の地にお迎えする機会を逸してしまいました。また、関信管内の各地区会総会も7月までに開催される予定であった茨城、長野、千葉、東京・山梨の4地区は全て中止になったと聞いております。11月に予定しております新潟地区会総会に関しては、今後の感染状況や他地区の開催状況も参考にしつつ検討するつもりです。年に一回の大事な行事なので何とか開催できればと願っているところです。施設に目を向ければ、送別会や歓迎会も期日未定のままの延期状態・・・とは言え、ネガティブな気持ちにはばかりなってはいただけません。WEB形式ですが、総合医学会もあります。予想されている新型コロナウイルスの第2波到来への準備もしなければなりません。もちろん日々の業務もありますし。息抜きもままならぬ現状ではありますが、健康に留意し、皆で元気に乗り越えましょう！



会長
西新潟中央病院
渡辺 靖

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年行われた定期総会にて副会長となりました柳澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

長野から新潟に転勤して1年（単身赴任）が立ち、職場や生活環境にも慣れ、週末帰省できない時などは、海辺まで、ウォーキングしています。ウォーキング中、今まで見たことのない夕日を眺めることができ、海なし県で育った私にとっては感動のひとつでした。

今は、新型コロナウイルス感染のため、積極的に出かけることができませんが、落ち着いたら、新潟の観光地に足をのばしに行きたいと思っています。去年は、友人に誘われ、柿崎港に釣りに行きました。

新潟地区会の活動においては、4月に新たな新会員を迎えての交流会が新型コロナウイルスの影響で中止となりました。各施設、連絡・情報交換を密にして、新潟地区会を盛り上げていきたいと思っております。会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



副会長
さいがた医療
センター
柳澤隆司

退職者挨拶

定年に寄せて

西新潟中央病院
山本直樹



新潟地区会の皆様には益々のご清祥のことお慶び申し上げます。
誌面をお借りして退職のご挨拶をさせていただきます。

1982年（昭和57年）1月より旧国立療養所村松病院に採用いただき3施設で38年間、国立医療機関でお世話になりました。この間、大過なく勤められましたことに感謝申し上げます。

振り返ってみますと村松病院では7年3か月務めさせていただきました。病院は100床と小さく、桜の名所で有名な村松公園の一角にありましたが隣町に住む私も知らない病院でした。まさに結核療養所にふさわしい環境ではありましたが老朽化した建物には驚いた次第です。間もなく病院の建て替え工事が始まり検査室の設計を任せられ、当時同じ規模の施設であった西小千谷病院に見学に行き、当時の技師長（目崎）さんからは多くのアドバイスとご指導をいただき何とか思い描いた検査室を完成させることができたことは入職2年目の私にとって自信となる大きな出来事でした。

次施設の新潟病院では主任として8年間単身赴任を経験しました。共同利用では免疫血清キーラボ施設として不安の中立ち上げから運用を任せられました。また、透析室開業の際には臨床工学士としても透析業務に係ることになり、朝は透析液の調整と準備、夕方は機械の消毒といった業務をこなしながら多職種の方々とチーム医療を経験できたことは大きな財産となりました。検査との掛け持ちの毎日で大変でしたが、スタッフの協力のお蔭で乗り切ることができ、いろいろな面で成長できた期間でした。また、プライベートでは海釣りや温泉と楽しむことができ、充実した単身生活を送れた地でもありました。

この頃から病院を取り巻く環境も厳しくなり、県内も統廃合計画の波にのまれ8施設から3施設となり、共同利用も衰退の域に入り撤退する施設も見られ今後の病院情勢に不安を感じたことを思い出します。

最後は西新潟で…。との思いが叶い希望の西新潟中央病院に配置換となり、良きスタッフにも恵まれ検体部門で5年間、生理部門で17年間担当しました。生化学共同利用キーラボ施設、てんかん研修施設、睡眠検査施設で色々なことを経験できましたこと、微力ではありましたが病院の特殊性を少しでも高め貢献できた22年間だと思っております。辛かったことも含め楽しく仕事をさせていただきましたことに感謝申し上げます。

最後になりますが新潟地区会の益々の発展と皆様のご健勝を心から祈念いたします。ありがとうございました。

追伸 2月から発生したCOVID-19の影響で3月の送別会も行われず定年した実感も沸かない状態です。4月から引き続き再雇用で頑張っております。

定年退職 記念品贈呈



新潟地区会より記念品を贈呈させていただきました。
(2020.6.24)



山本さん
長い間お疲れ様でした！

転出者挨拶



国立国際医療研究センター国府台病院
臨床検査技師長
竹内智明

新潟地区会を転出して

この度、4月1日付で国立国際医療研究センター国府台病院へ異動となりました。さいがた医療センターに在任中は新潟地区会の皆様には大変お世話になり有難うございました。地区交流活動では大変お世話になり「和紙作り」や「利き酒会」そしてバーベキューでの交流は忘れられない楽しい思い出です。また、個人的には米山や妙高山・弥彦山への登山、糸魚川や野尻湖へのサイクリングなど新潟ならではの生活を味わう事が出来ました。さいがた医療センターでは、精神科の再建に少しでも関わることができ大変勉強になりました。転勤した国府台病院にも精神科がありますのでこの経験を生かしたいと思っています。

まだまだ、久しぶりの通勤に慣れず悪戦苦闘の日々が続いています。通勤時には車窓に妙高山を思いだしリラックスするようにしています。また日常業務においても戸惑う事が多いですが、新潟で経験した登山のように一步一步着実に進みたいと思っています。

最後になりましたが、前例のないコロナ禍により各病院におかれましては大変なご苦勞をさせている事と思います。こんな時こそ各自がそして各地区会が力を合わせ少しでも前向きに進んでいけたらと思っています。新潟地区会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、異動の挨拶とさせていただきます。



国立療養所栗生楽泉園
副臨床検査技師長
古江裕志

転出の皆さん
お世話になりました



国立療養所栗生楽泉園へ赴任して

COVID-19感染拡大に伴い先の見えない中、新潟地区会の皆様方に於いてはご尽力されていると思われます。令和2年4月1日付で国立療養所栗生楽泉園へ副臨床検査技師長として赴任させて頂きました。着任から2か月が経ち、やっと新しい職場環境や単身赴任にも慣れてきたところです。

着任した栗生楽泉園は、標高1,200メートルの山の頂に広がる自然豊かな施設で、草津白根山や浅間山を一望することが出来ます。園内には、ハンセン病の見学施設である重監房資料館や社会交流会館等があり、昨年度は、5,900人程が来訪しています。施設の入所者数は、53名で昭和19年の1,335名をピークに急速な高齢化と入所者数の減少が進んでいます。「入所者1人ひとりの意向を尊重した生活支援」の元、福祉と医療の充実を図ることが、園の使命となっています。検査科は、技師長、副技師長、主任の3名と小規模な施設ですが、施設の要望に応えられる検査科をスタッフと共に目指しています。自然が豊か過ぎるために官舎の草刈りや虫退治で週末は、疲弊してしまいましたが、入り放題の草津の湯が心と体を癒してくれています。

新潟には、家庭の事情もあり2009年からの11年間勤務させて頂きました。会員の皆様方には、仕事や生活の面で色々のご指導を頂き貴重な経験をさせて頂きました。

新潟地区会の活動を振り返ると2007年に行った高田観桜会が、一番の印象に残っています。赴任して直ぐのレクレーションでしたので、戸惑いながらの参加でした。高田城址公園の見事な桜や担当施設のおもてなしで地区会の皆様と意気投合し、大変に盛り上がりました。気が付けば最終の快速電車の時間が間近に迫っており、泥酔状態のまま高田城址公園から高田駅まで西新潟中央病院チームは猛ダッシュ。私を含む数人はなんとか間に合いましたが、当時の山田技師長は、発車時間に現れませんでした。新潟駅までの2時間は、酔いも一気に覚め、疲れ果てぐったりしてしまいました。今でも高田駅まで走った光景を鮮明に覚えています。他にも色々理事の方々に企画して頂き、全てには参加できませんでしたが、マス釣り大会やBBQ、笹団子づくりや酒蔵見学などを通して会員の皆様と交流を深めることができ有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。また、早期のCOVID-19終息を願ひ、会員の皆様方には、体調管理にお気をつけてください。



高崎総合医療
センター
保田剛史

この度、4月1日付けで国立高崎総合医療センターへ異動となりました。新採用から6年間、新潟地区会の一員として活動し、皆様には大変お世話になりました。地区総会・研修会や新潟地区会交流会と参加できたことに感謝申し上げます。生まれも育ちも新潟県である私ですが、人生初の県外生活になりました。高崎市には縁があり、母の実家が高崎市になります。毎日、幼少期に母、祖父、祖母、と手をつないで歩いた道を懐かしみながら通勤しています。西新潟中央病院では実家から車通勤をしていましたが、現在は徒歩圏内と車を全く使用しない通勤となりました。新しい赴任先の高崎総合医療センターは西新潟中央病院より少し大きな総合病院です。救急、小児救急、周産期医療を中心に高度な医療機能が備えられた病院です。まだまだ慣れないこともあり、忙しい毎日を送っています。最初はどんな病院なのか緊張していましたが、検査室の皆様にあたたかく迎え入れていただき、ストレスなく過ごしています。今後は都会の生活に飲まれず、精進してまいりたいと思います。最後になりますが、新潟地区会の益々の発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



千葉医療センター
島田朋幸

この度、4月1日付けで千葉医療センターに配置換えとなった島田朋幸です。さいがた医療センターでの7年間、新潟地区会の皆様には大変お世話になり本当に有難うございました。また地区会においては検査技師としての経験も浅く右も左もわからない状態でしたが、事務局を仰せつかり、「朱鷺っと」の発行、交流会、総会・研修会・懇親会と無事会務を遂行できたことは、会員皆様のご協力・ご指導があってからこそだと感じております。

新しく赴任した千葉医療センターは地域の拠点病院として、地域医療支援・地域災害拠点・地域がん診療連携拠点の機能を有する急性期の施設です。赴任後2か月が過ぎ慢性期病院とは違う急性期病院での業務に戸惑い、中々慣れずに自身の知識と経験の無さが露呈され、不甲斐無く思う毎日を過ごしております。しかし検査科皆様の温かい支え、素晴らしい環境のもとで一步一步着実に前に進むよう奮闘中の毎日です。千葉は新潟と比べ晴れた日が多く、湿気も少なく過ごしやすい気候です（夏の暑さは厳しそうですが…）。現状が落ち着きましたら家族で千葉の様々な場所（ドイツ村、TDL、マザー牧場など）に出かけたいと考えています。

最後になりましたが、新潟地区会の益々のご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げ、異動のご挨拶とさせていただきます。

転入者挨拶

新潟地区会に赴任して

令和2年4月1日付けで村山医療センターより昇任で参りました中村茂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。生まれも育ちも神奈川県藤沢市で卒業後は神奈川県内の民間病院に就職した後、縁あって長野病院（移譲）に採用してもらい、西群馬病院（現、渋川医療センター）、東京医療センター、東京病院、沼田病院、村山医療センター。

そして、さいがた医療センターと至ってます。経歴だけ見ると「太平洋から日本海に来て、縁もゆかりもない土地で大変だね」と思う方が多いのではないかと思います。実は新潟県にはとても縁がありまして、妻は新潟県村上市（旧、朝日村）の出身です。長男は令和2年3月まで大学に通うため新潟市内で一人暮らしをしてました。卒業と同時に現在の住まいのある横浜市に戻ったと思ったら今度は「オヤジが新潟へ行け」と命じられた時には家族で「やっぱり何かあるんだよ！」と変な納得をしてました。ですから私にとって新潟県は第二の故郷と言っても過言ではないのです。

さて、現在未曾有のコロナ禍で、さいがた医療センターをはじめ新潟地区会そして国立病院総合医学会等多大な影響を受けています。「ピンチの時にチャンスあり」みんなで一緒に力を合わせこの難局を乗り越えましょう！第二の故郷である新潟のために頑張りますのでよろしくお願いいたします。



さいがた医療センター
臨床検査技師長
中村 茂



**転入の皆さん
よろしくお願いいたします！**

西新潟中央病院に赴任して

新潟県の皆様、始めまして。長野県出身のミヤザワ ヒサユキと申します。私は、静岡県、長野県、千葉県の際に移動となり、4番目の新潟県、6施設目の病院となります。千葉県からの移動距離も遠く、コロナウイルス感染の対応や病院の引継ぎ等沢山のことがありすぎて、とても大変な転勤となってしまいました。しかし、新潟県は、私にとって未開拓の地でありとても楽しみにしておりました。是非、新潟県内、東北方面の観光巡りや旨い店を探してみたいと考えています。そして、ゆっくり釣りをし、海風を浴びながら、心のリフレッシュをして、新潟県を満喫したいと考えています。

私事ですが、10年以上前、この西新潟中央病院の脳波研修でお邪魔したことがあります。てんかん専門病院という印象が非常に強かったのですが、呼吸器系、重心患者等も多く、大変な病院であることが解りました。4月頃は、仕事をこなしていけるか心配でしたが、検査科の皆様によさしくご指導頂き、なんとか3か月を終えることができました。今までの経験を活かしながら、後輩たちの育成や、運用工夫、コスト削減など自分のできる限りの努力を尽くして参りたいと思っております。今年、学会や地区会など開催されにくいですが、交流活動にもできるだけ参加して、新潟県の技師会員の方々とお会いしたいと考えています。



西新潟中央病院
副臨床検査技師長
宮澤寿幸

この度、4月1日付けで西新潟中央病院に赴任いたしました中村良幸です。どうぞよろしくお願いいたします。出身地、自宅ともに神奈川県横浜市です。本州を真横に横断して、参りました。前任地は、国立国際医療研究センター病院です。これまで、神奈川、茨城、東京、群馬の6施設に勤務してきました。今回、7施設目でまさかまさかの新潟初進出となりました。太平洋に慣れ親しんできた自分にとって、院内からも眺望できる日本海に新鮮さを感じる毎日です。

西新潟中央病院は、呼吸器疾患と脳神経疾患（難病）を中心とした専門性の高い診療を行っており、全国で13施設しかない厚労省認定の「てんかん治療拠点病院」とされています。生理検査においても脳波を主とした神経生理検査が中心となっています。これまで、心電図検査や超音波検査といった循環器系検査を主として従事してきた自分にとって、新しい発見の日々が続いています。

新潟地区会には、以前からの顔なじみの方も多く、地区会交流会でお会いできることを楽しみにしておりました。しかし、COVID-19の影響で中止となり大変残念に感じています。またの機会にお会いできればと思っております。

最後になりますが、新潟地区会の皆様とも交流を深めたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



西新潟中央病院
主任
中村良幸

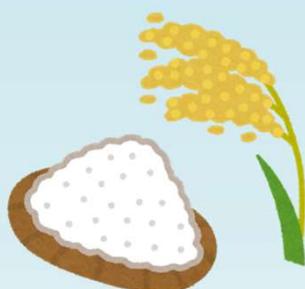


さいがた医療センター
織原大貴

令和2年4月1日付けでさいがた医療センターに臨床検査技師として採用されました織原大貴と申します。どうぞよろしくお願いいたします。出身は新潟県であり8年間を新潟市、10年間を上越市で過ごしました。大学では4年間一人暮らしをしていましたが、今回の採用で地元に戻ることとなり現在は実家から車で通勤をしています。社会人1年目となりますが、慣れ親しんだ地元のさいがた医療センターで仕事ができるということで安心して業務に取り組めております。

私は運動が好きで高校まではサッカー、大学ではテニスの部活に所属していました。スポーツ観戦も好きなのですが、今は新型コロナウイルスの影響でほとんど見ることができず残念に思っています。また状況が落ち着いたら体を動かしたいと思っています。

さいがた医療センターでは検査全般に触れることができるため勉強の必要性を感じております。まだまだ臨床検査技師として至らない点が多々あるかと思いますが、早く一人前になれるよう精進してまいりますので、皆様どうぞ指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



**県外から転入のみなさん
新潟を楽しんで下さいね~!**



今後の活動予定

- ・ 地区会定期総会・研修会
日程：令和2年11月7日(土)予定
- ・ 「朱鷺っと」発行
10月予定

編集後記

先日6月21日に部分日食がありました。夏至の日食は372年ぶりと言われ、これは見ないと！！と思いあわてて空を見上げました。皆さんはご覧になりましたでしょうか？372年前は江戸時代ということですが、その時代の人はどのように日食を見ていたのだろうか感慨深いものがありました。（M.T）



太陽の虚像？日食の撮影は難しい

新潟地区会事務局
NHO西新潟中央病院臨床検査科内
TEL 025-265-3171